



事務局長 西郷淑子

日中医学協会では、一九八七年から毎川記念保健協力財団、中国衛生部と共同で「日中笹川医学研究制度」を実施しています。この制度は、一年間、中国の医学関係者を招き、日本で勉強してもらい、帰国後に研究成果を中国の医療に役立ててもらおうのが目的です。当初二〇人程度の規模を計画していたのですが、日本財団の故

医学分野での日中交流を促進

「日中笹川医学研究者制度」

第一次の計画として、一〇年間で一〇〇〇名の研究者を招へいする計画が完了し、昨年からは第二次の一〇年計画がスタートしています。第二次はこの制度での来日経験者二〇人、新規の研究対象者八〇人の合計一〇〇人です。研究者の中には、帰国後副学長など要職に就いている方も出ています。今後は、中国側と話しあって、制度の対象者を北京など都市部に集中させず、内陸部の広い地域の方々を招くほか、看護とか予防医学的な分野への目配りにも力を入れていきたいと考えています。

財団法人 日中医学協会
03-3291-9161



日本財団
The Nippon Foundation

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

私達は、組織の売上げの3.3%を受けて、この事業を支援しています。